



平成30年度

# 施政方針

子や孫に誇れる  
町づくりの実現！



今井力夫町長は、平成30年第1回議会定例会の開会にあたり、平成30年度施政方針を述べました。一部抜粋及び修正して掲載します。

全文は町ホームページに掲載しています。

**平**成30年第1回知名町議会定例会の開会にあたり、行政運営に臨む私の施政方針を述べさせていただき、町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、先の町長選挙におきまして、町民の皆様をはじめ、各方面からの温かいご支援を賜り、第9代知名町長に就任させていただきました。私に寄せられた期待と責任の重さを日々痛感していると共に、その期待に応えるべく、町長としての使命感で身の引き締まる思いであります。

さて、30年は、奄美大島・徳之島・沖縄北

部・西表島の世界遺産登録が確実視され、さらに大河ドラマ「西郷どん」、奄美アイランドホッピングルート開設などで奄美群島が大きく脚光を浴びる節目の年になり、知名町においてもこれらを転機に交流人口の拡大、経済効果を得られるべく新たな施策を打ち出して果敢に挑戦しなければなりません。

「知名町の地方創生」をはじめとする施策を着実に実行するために、私は、「町民の意見を大事にする町政運営」を基本理念として、知名町新時代に向けた施策に取り組んでまいります。

「みんなで創り みんなで育む

みんなの知名町」の実現へ

## ■予算編成の基本的な考え

本町は「第5次総合振興計画」最終年度を翌年に控え、目標値の達成を見据えた大変重要な年となります。そのため、30年度の予算編成にあたっては、これまでの取り組みの評価・検証をいたうえで、より一層の創意工夫を凝らし、効率的で実効性のある施策・事務事業へ高めることにより、「みんなで創り みんなで育むみんなの知名町」の実現につながる取り組みを確実に進める予算編成を行いました。また、厳しい財政状況下において、将来にわたって弾力的で足腰の強い持続可能な行財政構造を構築するため、これまで行ってきた歳入・歳出改革の努力を緩めることなく、引き続き徹底した行財政改革を推進することを基本としました。

## ■行財政改革の推進・強化

### による財政の健全化

本町においては、町政を

取り巻く状況の変遷に適宜対応すべく行財政改革に取り組んで参りました。その結果、事務事業・組織機構の見直しをはじめ、給与・定員の適正化等が図られ、財政の面においても経常収支比率の改善や実質公債費比率の通減等、財政の健全化も概ね好転しているところであります。

なお、この間に法令等に基づく事務事業の増加や町単独の新規事業の創設等で業務拡大が行われながら、定員の削減並びに事務の効率化に努め、本年度も引き続き行財政改革を念頭に置き、新たな視点からの見直しも進めながら町民の多様なニーズに即応しつつ、活力に満ちた魅力ある地域社会づくりに積極的に取り組むたいと思えます。

ところで、財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率が18年度以降は年々改善されましたが、依然として高い状態で推移しており、引き続き行財政改革の推進を通じて経常収支